

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 地域創生キャリアプランナー設置事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3549)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 46,880 千円 (前年度予算額：47,001 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	47,001	2,106	0	0	0	0	115	0	44,780
要求額	46,880	2,099	0	0	0	0	115	0	44,666
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

就職希望者に対する就職支援に加え、大学等卒業後の地元就職を含めた進路情報、地域や地元企業に関する地域課題を高校生へ提供することで、地域産業や企業等の理解を深めるキャリア教育の充実を図り、将来、地域創生の担い手となる人材の育成を目指す。

(2) 事業内容

① 就職希望者に対する地元企業を中心とした就職支援

- ・キャリア教育、就職指導に関する教職員へのノウハウの提供。
- ・地元企業の就職情報の収集及び提供。
- ・外部機関とのコーディネートや新規開拓。
- ・面接指導、マナー指導、相談等の生徒への就職指導全般。

② 進学希望者に対する将来的な地元就職に関する支援

- ・地元企業の特色や求める人材等に関する情報の収集及び提供。
- ・大学や専門学校卒業時に必要な資格に関する情報の収集及び提供。
- ・大卒者・専門学校卒業者に関する求人情報の収集及び提供。

③ キャリア教育や探究的な学習活動の支援

- ・地域、地元企業の声や課題等の情報収集及び探究的な学習活動等で取り上げる地域課題の情報提供。
- ④域内の配置校が有する地元就職、キャリア教育等に関する情報の共有
- ・企業に関する情報や各校での取組等についての、専門高校及び教育事務所のキャリア教育担当者も交えた研修会・情報交換会の実施。（拠点校が取りまとめを行う。）
- ・配置校以外の学校からの要請に対する支援。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域創生キャリアプランナーの配置に係る経費（報酬、旅費）について、「補習等のための指導員等派遣事業」（国 1 / 3）を活用する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬	31,173	地域創生キャリアプランナー報酬
職員手当	5,719	地域創生キャリアプランナー期末手当
共済費	6,281	地域創生キャリアプランナー共済費
通勤手当（旅費）	1,322	地域創生キャリアプランナー費用弁償（旅費）
業務旅費	1,766	地域創生キャリアプランナー業務旅費
消耗品費	619	地域創生キャリアプランナー消耗品費
合計	46,880	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン
 - 基本方針 1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
 - 目標 2 地域と連携したキャリア教育の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
地域創生に資する高等学校改革の推進のために、生徒の学びと地元企業等をつなげるインターンシップの実施やキャリア教育の推進により、地元就職し地域を担う人材を育成するとともに、地元のことについてより理解を深める人材の育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

キャリア教育の推進を図るために、学校教育の多様な場面において取り組む事業であるため、特定の指標を設定し、達成度を示すことにそぐわない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
- ・地域創生キャリアプランナーを19校に配置（拠点校として5校を指定）。
- ・オンラインによる研修会の実施。
- ・職場体験やインターンシップの受け入れ先の開拓及び学校と企業等のマッチング。
- ・地元企業、資格取得方法等進路に関わる情報の整理及び生徒への提供。
- ・域内の配置校と地元企業が必要としている人物像等について情報共有や各校でのキャリア教育の支援。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・希望職種へ早期の就職、早期離職の解消、雇用のミスマッチの解消。
- ・企業開拓による、生徒が希望する新規の企業や職種への就職の実現。
- ・学べる内容や取得できる資格の情報提供による、将来を見据えた上級学校への進学の実現。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	若者雇用を取り巻く地域の状況変化を鑑みて、各学校において入学当初から教育活動の全体を通じて体系的・系統的なキャリア教育を実施するよう取組を進めるとともに、実施に当たっては地域と学校をよく知る外部人材の活用が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	キャリアプランナーによる情報提供により、地元企業への就職希望者が増加傾向にある学校や、企業訪問等で学校に対する企業の評価が高まり求人をいただいたケースがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	限られた時間の中で、キャリアプランナーは教員への情報提供に留まらず、生徒への指導を行っている。また、就職、進学指導に留まらない生徒、保護者との進路相談、キャリアカウンセリングは、生徒の進路意識の向上につながっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 地域と学校を「キャリア教育」という視点で結び付けられる人物の人選。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設置校においては、地元就職し地域を担う人材の育成や地元のことについてより理解を深める人材の育成を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	